

「ICTによる地域課題の解決に向けて」



東北総合通信局長

伊丹 俊八

情報通信技術（ICT）によるイノベーション

が急速に進展し、社会や経済活動への利用に浸透しつつあります。その一方で、ICTの技術革新が速度を増し、次々と新しいシステムやサービスが登場することに対し、それらの多様な情報を入手し、自らの課題解決に最大の効果を発揮させるには何をどのように利用すればよいのか、具体的なアイデア提案や社会実証・評価を十分にできない自治体や企業も多くあるのではないかと感じています。

特に、最近注目されているIoT（Internet of Things）の利用により、電波やインターネットを介して様々なセンサー等の情報を瞬時かつ大量に収集することが比較的安価かつ容易に実現できるようになりました。更に、こうして集めたビッグデータを共有し、AI（人工知能）の技術を適用することによりアイデア次第で新たな価値・サービスを創出することも可能になってきてい

ます。

東北地域においても、これらを適切に利用することにより、東日本大震災からの復興・創生における新たな街づくりをより進展させるとともに、観光振興や農林水産業の振興を始め、教育、防災、医療・福祉、働き方改革などの地域の社会的課題の解決に貢献できるものと期待されています。

この実現には、地域の社会的課題をどのように解決するかについて、様々な分野の方々から様々な視点でのアイデアを出し合い、それらを共有しつつ、その地域の実態と課題にマッチしたICTのエコシステムをデザインすることから始めることが重要と考えます。

このような状況において、東北総合通信局の果たすべき役割について、日々、自問自答しながら、職員とともに業務に取り組んでいるところです。当面、地域のIoTの先進的な実証やその実装を促進するため

の支援事業の実施に加えて、IoTに関心のある自治体に最適かつ多様な事例や実運用の課題克服の事例などの情報提供、IoTやAIの導入について関心があるがこれからという自治体の方々、ビジネスや社会展開を考えている企業や大学の方々等との間の意見交流を促進するためのアイデアソンの実施、セミナー等の普及啓発活動の取り組みなどを強化していきたいと考えています。

その一環で、東北情報通信懇談会の産官学の皆様と連携して、地域課題を公募しその課題の解決の糸口を企業等から求め課題解決を図る「地域課題解決マッチング会」を本年2月に仙台で開催しました。今年度は、東北地域2カ所で開催することを検討しています。このように産官学の連携・共働を行いながら東北地域の発展のために取り組んでいきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。